※令和４年度以降入学生用

学校番号	1013

令和８年度　看護科

教科	看護科	科目	施設実習成人	単位数	１単位	年次	２年集中
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

看護医療系の進路を考えている者が、基礎分野を偏りなく学び、看護の見方・考え方を習得することで、自らの適性や進路について考える機会を設けることと、看護科の授業で身に付けた知識・技能をいかし、臨地で実践的・体験的な学習活動を行うことで、よりよい看護の実践をめざして学ぶ姿勢を育成するために設定された授業です。病院実習２日間に加えて老人保健施設実習２日間、大学での講義を１日受けます。

2　学習の到達目標

保健・医療・福祉施設を見学することにより、保健・医療・福祉の関連性を総合的に学び、将来の職業への理解と興味を深める。 それぞれの施設の設備や機能についての見学および介助の体験を通して、患者や利用者との接し方、自立への援助方法、地域・家庭との連携について気づくことができる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	様々な保健医療現場・福祉施設を見学することにより、保健・福祉・医療の関連性を総合的に学び、理解を深めている。 それぞれの施設の設備や機能について見学・体験し、知識を身につけている。	見学および介助の体験を通して、患者や利用者との接し方を実践している。 自立への援助方法、地域・家庭との連携について気づくことができている。	看護の職業倫理を踏まえて課題を発見し、主体的かつ協働的に解決する力を養う。 看護を行うための基本的態度の育成を図る 将来の職業への興味を深めている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
集中	病院実習	1)病院見学実習	a: 病院の各組織と看護の関連性について理解できる b: 患者・利用者に対し積極的にコミュニケーションをとることができる c: 患者・利用者の自立への援助方法と家庭復帰への現状を知ることができる	実習レポート	実習レポート	実習指導者評価
	老人福祉施設実習	1)特別養護老人ホーム実習 (デイサービス・訪問介護見学含む	a: 在宅ケア支援施設としての地域・家庭との連携について気づくことができる b: 老年期についての理解を深めることができる			
	高大連携講座	1)高齢者の特徴、高齢者体験 2)大学生との交流・意見交換 3)高齢者とのコミュニケーション体験	a: 意欲を持ち積極的に行動できる b: 毎日の実習記録に見学・実習内容が書け、評価反省がなされている			

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度